

都市化により失われた海岸線の復旧を願う市民の要請により、人工海岸がつけられた。市民参加の黒松植樹、各種イベントも開催され、市民、近県民の憩いの場となる。



千葉市の稲毛海岸一帯は、東京湾の最深部に位置し、古くから遠浅の海として親しまれてきた。しかし、昭和三十

年代前半より京葉臨海開発のため埋立が進み、千葉市一七キロメートルに及ぶ海岸線も面影を失い、市民の間

で再現を望む声がいよいよ高まってきた。

そこで、稲毛海浜公園を設置するとともに、その前面に長さ二二〇メートル幅二〇メートルの人工海浜「いなげの浜」を造成した。さらに、かつての白砂青松を再現するため、黒松の苗木六万本が市民参加のもとに植えられた。

近年では、春の潮干狩、夏の海水浴等年間九〇万人の利用者を数え、かつての賑わいを取り戻しつつある。また、夏の花火大会等各種イベントも多数開催され、市民の憩いの場として親しまれている。

データボード③⑥

- ① 千葉県千葉市高浜
- ② 千葉市役所 ☎0472-43-7383
- ③ 延長2,000m、幅員400m
- ④ 人工海浜、プール、黒松
- ⑤ 千葉市民花火大会、たこあげ大会、ヨット大会、ミス千葉港コンテスト